

令和7年度 『琴畑水源の森プロジェクト』

遠野支署と協定している琴畑水源遊々の森で、令和7年5月20日(火)に遠野市及び遠野エコネットと協力して行っている「令和7年度琴畑水源の森プロジェクト」として、今年度も土淵小学校の4年生12名と遠野市土淵町栃内の東恩徳国有林49林班地内において、ミズナラの苗木の植樹などを行いました。5月8日(木)の事前学習会では、日本や岩手県の森林の特徴や森林の主な働きについて勉強しました。岩手県の森林面積について触れると、子供たちから「そんなに大きいんだ!」と言った声があがり、関心を持って聞いてくれていると感じました。



事前学習の様子

また、「日本や岩手県の森林の大きさやわりあいの多さについて知りびっくりした。ほかの県や国についても調べてみたい」との感想をもらい、今後興味を持ってくれるきっかけとなればいいと思います。

植樹当日は、小雨が降っていましたが、子供たちが現地に着くと雨がやみ、児童の日ごろの行いのおかげだと思いました。まず初めに植樹の手順を教わり、そのあと1人2本程度のミズナラの苗木を植えました。笹の根が深く張っていたため、唐鍬や剣先スコップを使って一生懸命掘ってもなかなか穴を掘り進めることができず、大人たちと協力して作業を進めていました。

苗木を植えた後は、シカなどの動物に食べられないようにシカ食害防止チューブを設置しました。自分たちが植えた苗がわかるように、チューブに植樹した年月日と名前を書きました。その後はジェットシューターで水やりを行い作業が終わりました。

感想発表では、「思ったより土が硬くて掘るのが大変だった。」「植えるときに意外と力があることが分かった。」など、児童それぞれの感想を聞くことができました。今回の植樹体験を通して山と森林の大切さ、木を育てていくことの必要性について興味を持っていただけたのであれば幸いです。児童たちが将来大人になった時に、自分たちの植えた木が水源の森として育っているか、見に来てほしいと思います。

岩手南部森林管理署遠野支署 村田 翔



力作業!!



大きくなってね。



ジェットシューターで水をやろう。



シカからミズナラを守ってね。



作業完了! ガッツポーズ